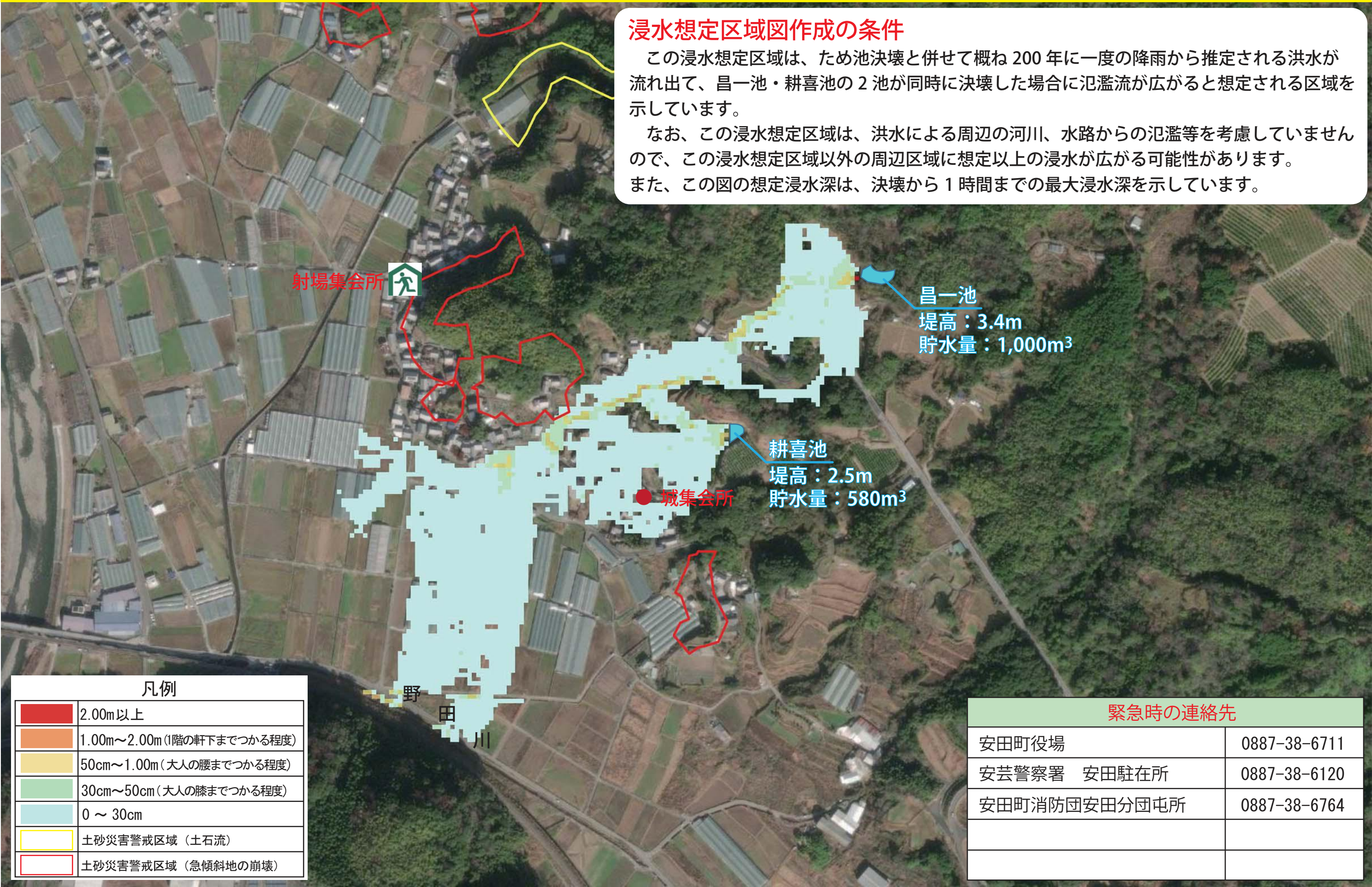


安田町昌一池・耕喜池ため池ハザードマップ

浸水想定区域図作成の条件

この浸水想定区域は、ため池決壊と併せて概ね 200 年に一度の降雨から推定される洪水が流れ出て、昌一池・耕喜池の 2 池が同時に決壊した場合に氾濫流が広がると想定される区域を示しています。

なお、この浸水想定区域は、洪水による周辺の河川、水路からの氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域以外の周辺区域に想定以上の浸水が広がる可能性があります。また、この図の想定浸水深は、決壊から 1 時間までの最大浸水深を示しています。



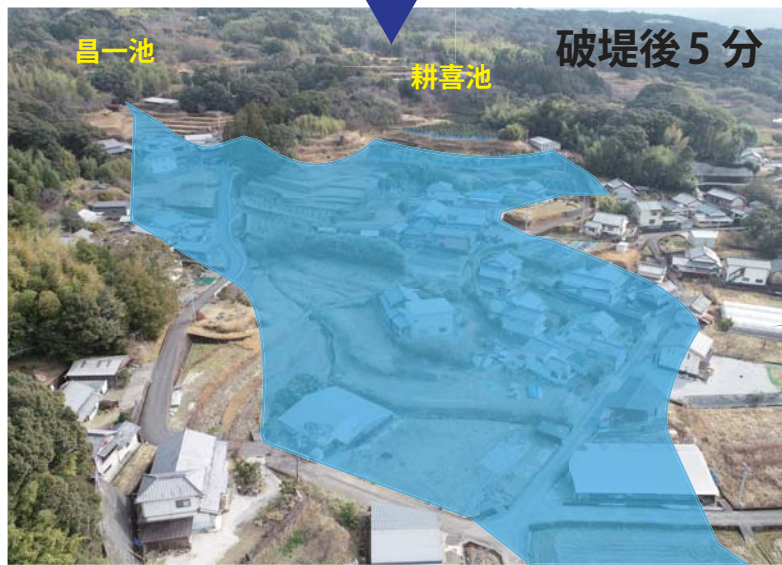
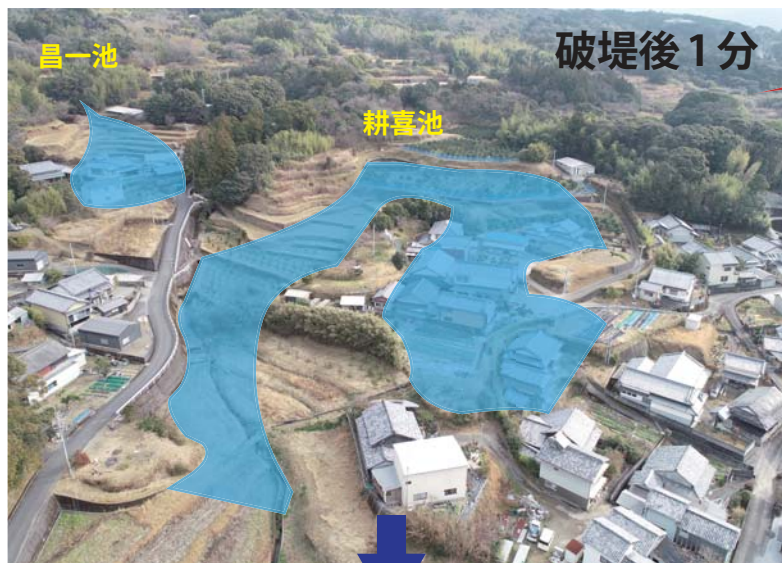
凡例

	2.00m 以上
	1.00m～2.00m (1階の軒下までつかる程度)
	50cm～1.00m (大人の腰までつかる程度)
	30cm～50cm (大人の膝までつかる程度)
	0 ～ 30cm
	土砂災害警戒区域 (土石流)
	土砂災害警戒区域 (急傾斜地の崩壊)

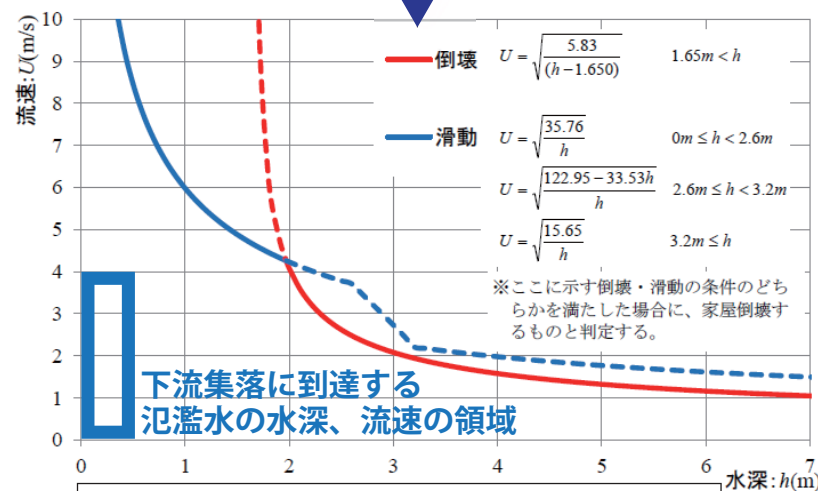
緊急時の連絡先

安田町役場	0887-38-6711
安芸警察署 安田駐在所	0887-38-6120
安田町消防団安田分団屯所	0887-38-6764

ため池が決壊してから避難しても
間に合わない！



ため池決壊後、数分で下流の集落まで氾濫水が到達



ため池から氾濫した流水により家屋が
倒壊する可能性は低いと想定されます。

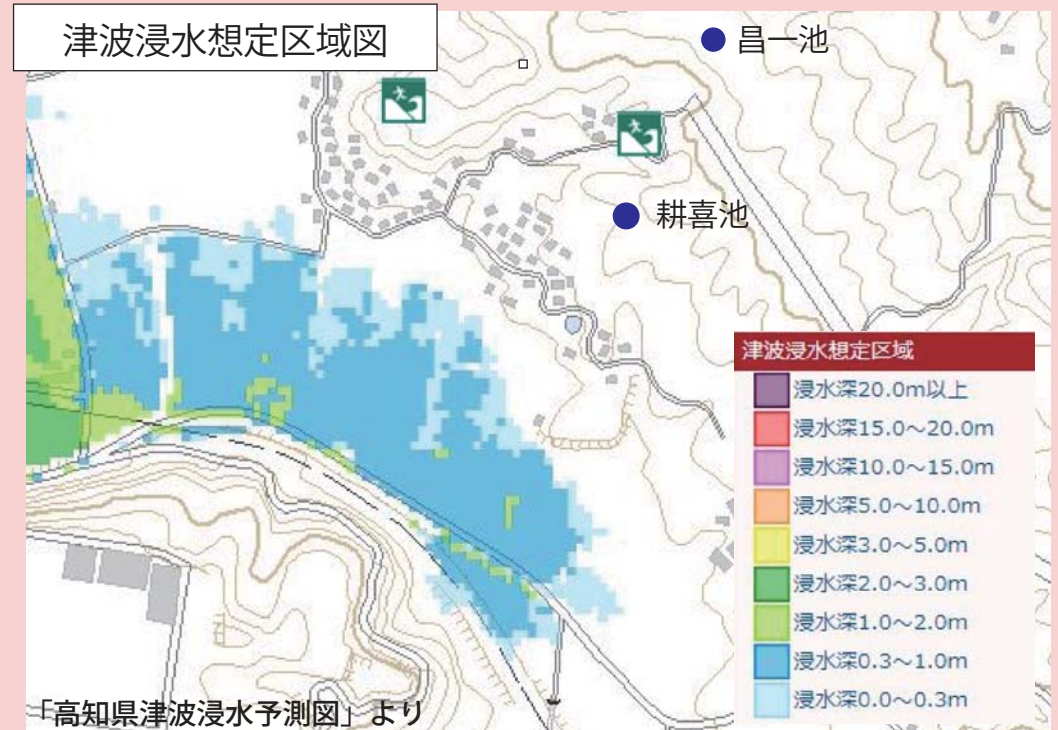
ため池はこんな時に決壊するおそれがあります

地震



地震によりため池が決壊するおそれがあります。
地震の後に襲ってくる津波は、幸いに集落まで到達する
可能性は低いです。そのため家屋の耐震化が重要です。

津波浸水想定区域図



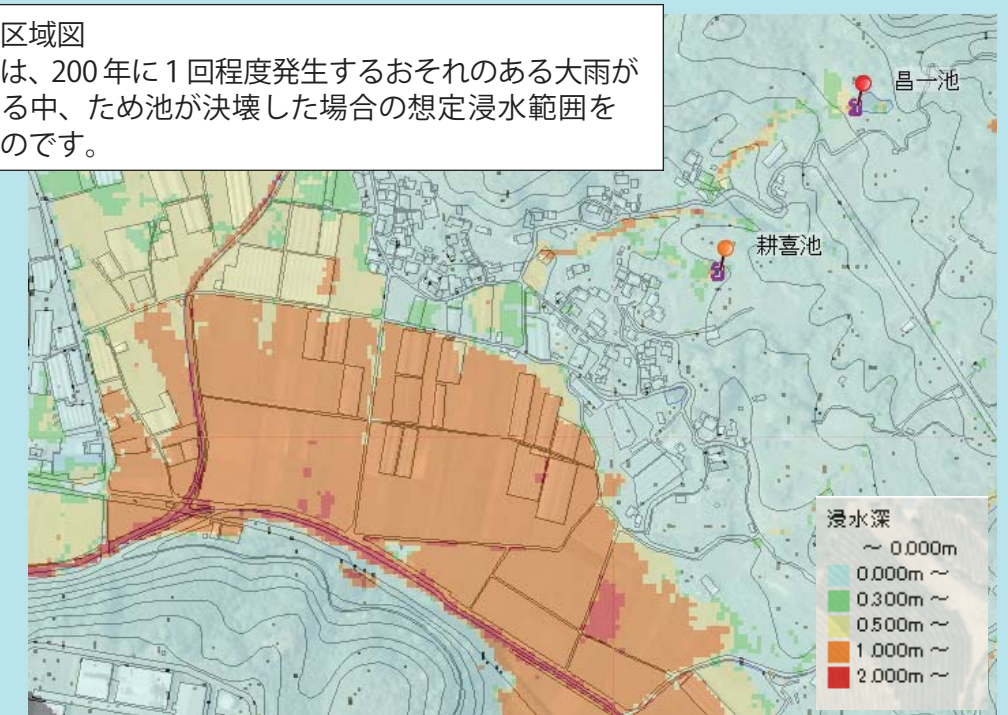
大雨



大雨によりため池から水が溢れ、ため池が決壊するおそれがあります。
ため池が決壊するほどの大雨の時は、耕作地を中心に一帯が浸水して
いると想定されます。特に夜間などでは町中心地の避難所へ避難する
よりは、家の2階にいた方が安全な場合も。

浸水想定区域図

この図面は、200年に1回程度発生するおそれのある大雨が
降っている中、ため池が決壊した場合の想定浸水範囲を
示したものです。

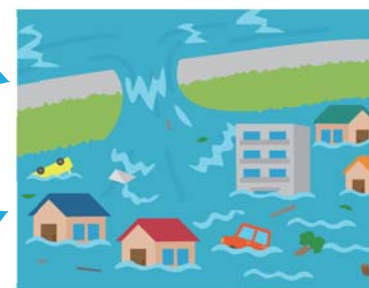


万一ため池が決壊した場合に備えて



大雨

ため池決壊



家屋の耐震化により倒壊を防ぎ
2階に避難を

ため池からの氾濫水では
家屋は大丈夫。
状況によっては2階に避難を

無理して避難するよりかは、
自宅の2階にいた方が
安全な場合もあります。
普段から、周辺の状況に応じた
避難対応を考えておきましょう！